

まちづくりNEWS

旭川市総合計画市民検討会議

第3分科会 vol.3

平成26年9月3日

(発行元)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階

TEL/FAX 26-0338

(委託者)

旭川市総合政策部総合計画課

旭川市総合計画市民検討会議 第3分科会の第3回会議が行われました！！

7月23日（水）に旭川市総合計画市民検討会議第3分科会議の第3回会議が開催されました。

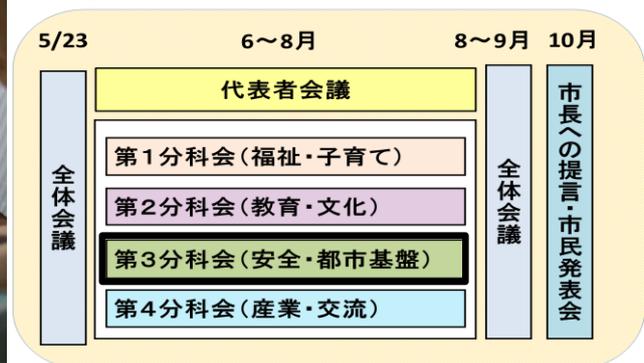
この第3分科会では平成28年度以降の新たな総合計画の策定に向けた検討を行うため、これからの旭川市の「安全・都市基盤」について議論を行っています。

今回の会議では、第1回目と第2回目に計10名の委員の方々からいただいた意見をもとに、最終的な提言に導くための課題整理や意見交換などを行いました。

以下に当日の主な意見交換の要旨を記載します。



市民検討会議の主なスケジュール



職員WGからの報告

※職員WG：市の職員で構成するワーキンググループ

- 「地域資源・地域課題」の内容についての情報提供
 - 地域資源・・・「災害の少ない街」、「市有施設におけるバイオマスの利活用」、「川の街旭川」、「平和通買物公園」、「旭川冬まつり」等
 - 地域課題・・・「災害が少ないため防災意識が低い」、「市街化区域における緑被地占有率が低い」、「将来を見据えた社会資本の維持管理」、「公共交通機関の利用者の減少」
- 本市の災害リスクとその対応策についての情報提供
 - 想定リスクとしては、震災、水災、火山、竜巻等が考えられ、中でも地震に関しては、本市は、30年以内に震度6弱以上の地震が来る確率は、0.3%以下と国内で最も低い。
 - しかしながら、災害に対して平時から備えるべく、市、関係機関、民間、市民等が災害発生時に一丸となって取り組むことができるように「旭川市地域防災計画」を策定している。
- 放置空き家、建築物や橋梁の耐震化、除排雪体制等に対する本市の取組状況
- 国等における本市を流れる河川の治水に対するこれまでの取組

会議の進め方

- ①これまで出た意見からキーワードを抜き取り、防災、消防・救急等、9つのテーマに分類
- ②テーマ別に分類したキーワードをさらに「将来像」、「課題・現状」、「対策・方向性」に分類
- ③各委員がそれぞれ重要だと思うキーワードに投票
- ④ランキングが高かったキーワードを中心に議論
- ⑤提言書作成に向けた骨組み、方向性を導き出す



第3分科会(安全・都市基盤)の主なテーマ

- ①防災
- ②消防・救急
- ③交通安全・防犯
- ④環境・リサイクル
- ⑤エネルギー
- ⑥都市基盤整備
- ⑦交通
- ⑧住環境
- ⑨雪対策

各委員の方々からは、将来の旭川の方向性を検討する上で、非常に重要な御意見を多数いただきました。以下に、検討された内容の一部をご紹介します。

●将来像

- ・自慢できる街。アイデンティティを持つ。旭川はいい街だ。
- ・自らの生活を豊かにして、悠々と暮らしを楽しんでいることに対し、「行ってみたい」、「住みたい」と思って集まる人たちに「おすそわけ」する街に

①防災

- ・安心して暮らせる都市機能の充実を強みに、移住・企業誘致を積極的に行う。

②消防・救急

- ・救急要請の要否、応急処置等に係る相談窓口の開設。

③交通安全・防犯

- ・自転車走行帯の普及が必要(冬季は道路の雪置場として利用)。

④環境・リサイクル

- ・各家庭でのバイオマス燃料導入により、燃料費低減、林業雇用、森林整備が図れる。

⑤エネルギー

- ・安心して暮らせる都市機能の充実を強みに、移住・企業誘致を積極的に行う。

⑥都市基盤整備

- ・コンパクトシティ化
- ・周辺地の切り捨てではなく、商業、文化、行政施設等の再編・再配置を検討。
- ・人口流出を止め、流入を増やす手立てを積極的に検討すべき。
- ・リタイア世代だけでなく、現役世代も呼び込める策についてあらゆる検討。

⑦交通

- ・自動車交通と機能的に補完し合うような交通環境の整備(駐車場+シャトルバス)

⑧住環境

- ・市庁舎は、広場等を兼ね備えたランドマークとして人が集まれるような場所
- ・中心部への住み替え促進

⑨雪対策

- ・雪の有効利用、利活用
- ・行政による除雪と地域による除雪の体制整備



今後の予定ほか

第3分科会は、全4回実施する予定です。
なお、過去の会議は6/4、6/24に実施しております。